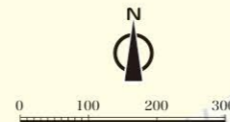


ROUTE 1

上水・用水コース

玉川上水沿いの美しい緑と水の音をききながら歩いていきます。途中、小川寺、神明宮に寄り、大ケヤキや小川用水を見ながら野火止用水の緑道沿いを歩いて駅に向かいます。

昭和21年に開園した東京都薬用植物園で、国内はもちろん、世界各国の貴重な薬草、草木が栽培されています。



承応4年(1655)に武蔵野開発のために造られた水路です。玉川上水からの最初の分水で、埼玉県の新河岸川まで約24kmを流れています。

住宅地がすぐ近くです。お静かに

この地点から北側と南側に小川用水が分かれて進んでいきます。

大正時代に建てられた大きな石碑で、小川村の成り立ちと小川九郎兵衛の事績などを伝えていきます。

市内最大の巨木で、樹齢は300年以上といわれています。

玉川上水の北側を流れ、一部区間では「胎内堀(ほっこぬき)」と呼ばれるトンネル状の掘削が行われています。

小川九郎兵衛が小川村の開発を始めた際、雪山碩林大禅師を開山として建立したといわれています。

WALKING ROUTE
●距離約5.8km ●時間約1時間27分 ●消費カロリー261kcal ●歩数約8,286歩



※サブルートを歩いた場合、距離約4.1km、時間約1時間2分、消費カロリー186kcal、歩数約5,857歩